

努力賞 (子どもの部)

「絵本でつながる」

荒川区立第三中学校二年

國生 陽美

父が、自分の大好きな絵本だ、と言ってまだ小さかった私に紹介してくれたのが、さとうわきこさん作のばばあちゃんシリーズの中の一つ『いそがしいよる』です。この絵本に出てくる様々な家具の絵が大好きで、一人で何度も読みました。

あれから何年か経ち、先日久しぶりにこの絵本を読んだとき、父と私はこの絵本で一つのつながりを持っているのかもしれない、とふと思いました。絵本を読んでわくわくした気持ち、絵本が好き

だ、という気持ちといったこの絵本に対する共通の思いがつながりを生むのかもしれない。もし世界中の人々が同じ本を読んでいたら世界中がつながりを持ちます。これってすごいことですよ。

読む本が増えるたびに私と誰かがつながりを持つと思うと、絵本はとても貴重な存在なのだと思えて感じました。そして絵本を書く作家さんはつながりを生む特別な人です。この絵本大賞も柳田先生によって様々なつながりが生まれていますね。